

科目名	解剖学実習		対象学科		作業療法学	
			開講学年		1 学年	
指定規則科目区分	専門基礎分野		講義形態	実習	単位	2 単位
	人体の構造と機能及び心身の発達		コマ数	30 コマ	時間数	60 時間
担当教員 (◎印は科目責任者)	◎ 近藤 由季子					
授業概要	骨・筋の触診を行う					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の身体上で骨・筋の触診ができるようになる</li> <li>・筋の場所のイメージを持つことができる</li> </ul>					
教科書	機能解剖学的触診技術 上肢・下肢 【メディカルビュー】					
参考書	標準理学療法学・作業療法学 解剖学第4版 【医学書院】 プロメテウス解剖学アトラス 運動器系 【医学書院】 基礎運動学 第6版 【医学書院】					
成績評価方法	実技試験		定期試験		計	
	20 点×5		点		100 点	
予習・復習のポイント	解剖学を事前に予習し、受講するとより理解が深まる。また、繰り返し実技の練習を行うことで知識の定着に繋がる。					
授業計画						講師名
第1回	オリエンテーション 鎖骨【肩峰端・胸骨端】 肩甲骨【肩甲棘・肩峰・内側縁】					4/12 近藤
第2回	肩甲骨【外側縁・関節下結節・烏口突起・上角・下角】 胸郭【胸骨柄・頸切痕・胸骨体・剣状突起】					4/19 近藤
第3回	上腕骨【大結節・小結節・結節間溝・外側上顆・内側上顆・上腕骨小頭・肘頭窩・上腕骨滑車】					4/26 近藤
第4回	橈骨【橈骨頭・橈骨茎状突起・リスター結節】 尺骨【肘頭・尺骨頭・尺骨茎状突起】					5/10 近藤
第5回	手根骨【豆状骨・三角骨・舟状骨・月状骨・大菱形骨・小菱形骨・有頭骨・有鉤骨】					5/10 近藤
第6回	骨 触診確認 (第1～第5回分)					5/24 近藤
第7回	骨盤【腸骨稜・上前腸骨棘・下前腸骨棘・坐骨結節】 大腿骨【大転子・大腿骨頭・大腿骨膝蓋面】					5/31 近藤
第8回	大腿骨【大腿骨内側顆・大腿骨外側顆・大腿骨内側上顆・大腿骨外側上顆・内転筋結節】 下腿【膝蓋骨・脛骨粗面】					6/7 近藤
第9回	下腿【脛骨内側顆・脛骨外側顆・腓骨頭・内果・外果】 脊柱【外後頭隆起・頸椎棘突起・腰椎棘突起】					6/14 近藤
第10回	骨 触診確認 (第7～第9回)					6/21 近藤
第11回	三角筋・大胸筋・棘上筋・棘下筋					6/28 近藤
第12回	小円筋・大円筋・肩甲下筋・広背筋					7/5

		近藤
第 13 回	烏口腕筋・僧帽筋・菱形筋・肩甲挙筋・	7/12 近藤
第 14 回	小胸筋・前鋸筋・上腕二頭筋・上腕筋	7/12 近藤

授業計画		講師名
第 15 回	腕橈骨筋・上腕三頭筋・肘筋・円回内筋	近藤
第 16 回	復習	近藤
第 17 回	<b>上肢の筋 触診確認 (第 11～第 15 回)</b>	近藤
第 18 回	方形回内筋・回外筋・長掌筋・橈側手根屈筋・尺側手根屈筋	近藤
第 19 回	長橈側手根伸筋・短橈側手根伸筋・尺側手根伸筋・総指伸筋・示指伸筋・小指伸筋	近藤
第 20 回	長母指伸筋・短母指伸筋・長母指外転筋・浅指屈筋・深指屈筋	近藤
第 21 回	長母指屈筋・短母指屈筋・短母指外転筋・母指内転筋・母指対立筋	近藤
第 22 回	小指外転筋・短小指屈筋・小指対立筋・虫様筋・背側骨間筋・掌側骨間筋	近藤
第 23 回	腸骨筋・大腰筋・縫工筋・大腿筋膜張筋・中殿筋	近藤
第 24 回	<b>上肢の筋 触診確認 (第 18～第 22 回)</b>	近藤
第 25 回	大殿筋・梨状筋・長内転筋・恥骨筋・大内転筋・	近藤
第 26 回	大腿直筋・内側広筋・外側広筋・中間広筋・半腱様筋	近藤
第 27 回	半膜様筋・大腿二頭筋・薄筋・膝窩筋・前脛骨筋	近藤
第 28 回	腓腹筋・ヒラメ筋・後脛骨筋・長腓骨筋・短腓骨筋	近藤
第 29 回	復習	近藤
第 30 回	<b>下肢の筋 触診確認 (第 24～第 29 回)</b>	近藤

科目名	運動学 I		対象学科		作業療法学科	
			開講学年		1 学年	
指定規則科目区分	専門基礎分野		講義形態	講義	単位	2 単位
	人体の構造と機能及び心身の発達		コマ数	15 コマ	時間数	30 時間
担当教員 (◎印は科目責任者)	◎ 神保洋平					
授業概要	人体の運動を力学的観点から学習する					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>解剖学的知識を基に、関節の構造、筋の付着から運動の仕組みを理解する</li> <li>人体の動きを運動学的に説明できる</li> </ul>					
教科書	基礎運動学 第6版 補訂 / プロメテウス 解剖学アトラス第3版					
参考書						
成績評価方法	期末試験				計	
	100 点	点	点	点	100 点	
予習・復習のポイント	シラバスを読み、教科書の該当箇所を授業前後に読む。					
授業計画						講師名
第1回	生体力学とは何かを理解する／Newtonの運動法則を理解する 慣性の法則／運動方程式／作用反作用の法則／重力加速度／力				19, 35, 36	神保(洋)
第2回	運動の空間的側面(面と軸)を理解する 基本的肢位／解剖学的肢位／前額面／矢状面／水平面／垂直軸／矢状水平軸 ／前額水平軸				20, 21	
第3回	上肢帯と肩関節の動きを理解する／肩甲上腕リズム				213-224	
第4回	／回旋筋腱板／浅い関節構造をどのように補強しているか					
第5回	肘関節と前腕の動きを理解する 肘の3つの屈筋の違いを理解する				224-229	
第6回	手関節と手の動きを理解する 手の動きに橈骨手根関節と手根中央関節はどう連携しているか				229-246	
第7回	指の動きを理解する／浅指屈筋と深指屈筋の違い／CM関節の特徴／長母指外 転筋と短母指外転筋の違い					
第8回	指の動きを理解する／指背腱膜の構造を理解する 虫様筋・骨間筋の役割の違いを理解する					
第9回	まとめ					
第10回	身体とてこ(てこの種類)を理解する				40, 43	
第11回	並進運動と回転運動				28	
第12回	モーメント：人体でモーメントはどのように働いているかを理解し、計算が できる。				31-32	
第13回						
第14回						
第15回	全体まとめ					
備考						

科目名	運動学Ⅱ		対象学科		作業療法学科	
			開講学年		2 学年	
指定規則科目区分	専門基礎分野		講義形態	講義	単位	4 単位
	人体の構造と機能及び心身の発達		コマ数	30 コマ	時間数	60 時間
担当教員 (◎印は科目責任者)	◎ 神保 洋平					
授業概要	人体の運動を力学的観点から学習する					
到達目標	下肢・体幹の運動の仕組みを理解する 重心と反力、モーメントの概念を活用し、動作の分析が出来る 運動に関与する神経基盤／運動に伴う循環器系の変化／エネルギー代謝を理解する 姿勢や歩行を動作分析的視点で見ることが出来る					
教科書	基礎運動学第6版【医歯薬出版】					
参考書	プロメテウス解剖学アトラス運動器系【医学書院】					
成績評価方法	中間テスト	期末テスト			計	
	50 点	50 点	点		100 点	
予習・復習のポイント	【予習】各授業のテーマに該当する教科書を読む 【復習】授業のポイント、キーワードを整理する					
授業計画					日付	講師名
第1回	股関節の関節構造と靭帯の作用を理解する					神保(洋)
第2回	股関節の関節構造を理解する					神保(洋)
第3回	股関節の筋の作用を理解し空間的に出来る					神保(洋)
第4回	膝関節と靭帯の作用を理解する					神保(洋)
第5回	膝関節構造を理解する					神保(洋)
第6回	膝筋の作用を空間的に理解する					神保(洋)
第7回	足関節の関節構造と靭帯の作用を理解する					神保(洋)
	足の筋の作用を理解し空間的に出来る					
第8回	足のアーチ構造を理解し、アーチを支えている仕組みを理解する					神保(洋)
第9回	運動学習の理論					神保(洋)
第10回						神保(洋)
第11回	エネルギー代謝（カロリー／基礎代謝／エネルギー代謝率／代謝当量）					神保(洋)
第12回						神保(洋)
第13回	筋のエネルギー代謝					神保(洋)
第14回	復習課題					神保(洋)
第15回	前半まとめ					神保(洋)

授業計画		講師名
第16回	表情筋・顎関節の運動学	神保(洋)
第17回	頸部～体幹の運動学	神保(洋)
第18回	頸部～体幹の運動学	神保(洋)
第19回	呼吸の運動学	神保(洋)
第20回	呼吸の運動変化(呼吸生理学)	神保(洋)
第21回	運動学的分析の手順を理解する	神保(洋)
第22回	第21回の内容を踏まえ、重心・姿勢と筋活動を分析的に理解する	神保(洋)
第23回	第21回の内容を踏まえ、重心・姿勢と筋活動を分析的に理解する	神保(洋)
第24回	歩行周期を理解する	神保(洋)
第25回	歩行周期の角度変化について理解する (股関節・膝関節・足関節・骨盤)	神保(洋)
第26回	歩行周期における床反力・重心移動の変化を理解する	神保(洋)
第27回	歩行周期における筋活動を理解する	神保(洋)
第28回	小児と高齢者の歩行について理解を深める	神保(洋)
第29回	復習課題	神保(洋)
第30回	後半まとめ	神保(洋)
備考		

科目名	精神医学		対象学科		作業療法学科	
			開講学年		2 学年	
指定規則科目区分	専門基礎分野		講義形態	講義	単位	2 単位
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進		コマ数	30 コマ	時間数	60 時間
担当教員 (◎印は科目責任者)	◎ 高橋 知之					
授業概要	作業療法士に必要な精神医学を学ぶ					
到達目標	作業療法を実施するために必要な ①精神医学の総論について説明できる ②精神症候学について説明できる ③各精神疾患について説明できる					
教科書	精神医学第3版【医学書院】					
参考書	精神疾患の理解と精神科作業療法【中央法規】現代臨床精神医学【金原出版】					
成績評価方法					計	
	200 点	点	点	点	200 点	
予習・復習のポイント	シラバスに従い、教科書の該当箇所を熟読し講義に臨むこと。 講義内容に従い、過去の国家試験問題の該当箇所を学習すること。					
授業計画						講師名
第1回	4/10 3時限目 精神医学とは 正常と異常 ICDとDMS 成因と分類 Tx. P2-6					高橋
第2回	4/17 1時限目 精神障害者の処遇の歴史と法規 Tx. P6-10 252-270					高橋
第3回	4/24 1時限目 精神障害の診断と評価 成因と分類 病識と病感 Tx. P11-15					高橋
第4回	5/8 1時限目 意識とその障害 知能とその障害 Tx. P16-38					高橋
第5回	5/15 1時限目 性格とその障害 記憶とその障害 Tx. P16-38					高橋
第6回	5/22 1時限目 感情とその障害 欲動、意志とその障害 Tx. P16-38					高橋
第7回	5/29 1時限目 自我意識とその障害 知覚とその障害 Tx. P16-38					高橋
第8回	6/5 1時限目 思考とその障害 Tx. P16-38					高橋
第9回	6/12 1時限目 思考とその障害 Tx. P16-38					高橋
第10回	6/19 1時限目 精神状態像 神経心理学的症状 Tx. P38-45					高橋
第11回	6/26 1時限目 精神障害分野における検査 Tx. P53-67					高橋
第12回	7/3 1時限目 リエゾン精神医学 心身医学 Tx. P205-212					高橋
第13回	7/10 1時限目 精神障害の治療 Tx. P229-251					高橋
第14回	7/17 1時限目 社会文化とメンタルヘルス Tx. P271-277					高橋
第15回	前期まとめ					高橋
備考	再試験の場合は、後期末再試験期間に前後期全範囲にて実施する。					

科目名	リハビリテーション概論		対象学科		作業療法学科	
			開講学年		1 学年	
指定規則科目区分	専門基礎分野		講義形態	講義	単位	1 単位
		保健医療福祉とリハビリテーションの理念		コマ数	15 コマ	時間数
担当教員 (◎印は科目責任者)	◎ 神保 匡良					
授業概要	リハビリテーションの概要を理解する					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリテーションの定義・目的について説明できる</li> <li>・リハビリテーション領域と各職種について説明できる</li> <li>・障害のとらえ方、対応について説明できる</li> </ul>					
教科書	入門リハビリテーション概論第7版, 増補					
参考書	ひとりで学べる作業療法士(作業・理学) 国家試験・問題と詳解					
成績評価方法					計	
	100 点	点	点	点	100 点	
予習・復習のポイント	シラバスを読み、教科書の該当箇所を授業前後に読む。 講義該当箇所の国家試験問題を学習する。					
授業計画						講師名
第1回	リハビリテーションの定義を説明できる			4月8日1限	神保(匡)	
第2回	リハビリテーションの目的を説明できる			4月8日2限	神保(匡)	
第3回	リハビリテーションの職種について説明できる。 (理学療法士・言語聴覚士・社会福祉士・精神保健福祉士・リハ医師の役割を説明できる) チームアプローチについて説明できる。			4月15日1限	神保(匡)	
第4回	リハビリテーションの職種について説明できる。 (理学療法士・言語聴覚士・社会福祉士・精神保健福祉士・リハ医師の役割を説明できる) チームアプローチについて説明できる。			4月15日2限	神保(匡)	
第5回	作業療法の定義を説明できる。			4月22日1限	神保(匡)	
第6回	作業療法の範囲、目的を説明できる。			4月22日2限	神保(匡)	
第7回	リハビリテーションの歴史的変遷を説明できる。Tx. P1-8 リハビリテーションとノーマライゼーションについて説明できる。 Tx. P89-92 (自立・QOL・バリアフリー・ユニバーサルデザインなど)			5月13日1限	神保(匡)	
第8回	リハビリテーションの諸段階(医学的・社会的・教育的・職業的など) Tx. P115-166			5月13日2限	神保(匡)	
第9回	リハビリテーションの分野について説明できる。 (身障・発達・身障・精神・高齢期・地域リハなど)			5月20日1限	神保(匡)	
第10回	リハビリテーションの分野について説明できる。 (身障・発達・身障・精神・高齢期・地域リハなど)			5月20日2限	神保(匡)	
第11回	障害の分類 I C I D Hについて説明できる。			5月27日1限	神保(匡)	
第12回	障害の分類 I C Fを説明できる。			5月27日2限	神保(匡)	
第13回	I C Fを用いて情報を整理することができる。			6月3日1限	神保(匡)	
第14回	I C Fを用いて情報を整理することができる。			6月3日2限	神保(匡)	
第15回	まとめ			6月11日3限	神保(匡)	
備考						

科目名	専門職連携論		対象学科		作業療法学科	
			開講学年		4 学年	
指定規則科目区分	専門基礎分野		講義形態	講義	単位	1 単位
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念		コマ数	15 コマ	時間数	30 時間
担当教員 (◎印は科目責任者)	◎ 近藤 由季子					
授業概要	運動器の生理学、および整形疾患を理解する					
到達目標	1. 筋生理学を理解する 2. 感覚について理解する 3. 運動器について理解する 4. 整形疾患について理解する					
教科書	PT/OT 国家試験必修ポイント 基礎医学【医歯薬出版】					
参考書	配布資料 病気が見える 7 脳・神経【メディックメディア】 プロメテウス 解剖学アトラス 運動器系 【医学書院】 基礎運動学 【医歯薬出版】 解剖学 第3版 【医学書院】					
成績評価方法	定期試験				計	
	100 点		点	点	100 点	
予習・復習のポイント						
授業計画						講師名
第 1 回	【筋生理学 骨格筋】 筋原線維 骨格筋の特徴 運動単位			P144-148	近藤 6/26	
第 2 回	【筋生理学 骨格筋】 筋収縮の生理 筋紡錘 ゴルジ腱器官 伸張反射			P150-156	近藤 6/26	
第 3 回	【感覚】 皮膚の構造 感覚受容器 視覚器 視覚路			P157-163	近藤 7/1	
第 4 回	【感覚】 聴覚器 大脳機能局在			P164-166	近藤 7/1	
第 5 回	【運動機能学 骨】 骨 関節 上肢 下肢			P170-182	近藤 7/2	
第 6 回	【運動機能学 骨】 骨 関節 上肢 下肢			P170-182	近藤 7/2	
第 7 回	【運動機能学 筋】 上肢			P186-189	近藤 7/3	
第 8 回	【運動機能学 筋】 下肢			P191-195	近藤 7/3	
第 9 回	【運動機能学 筋】 頭部 頸部 体幹			P197. 226-227	近藤 7/5	
第 10 回	【運動機能学 神経支配】 上肢・二重神経支配 脳神経			P198-212	近藤 7/5	
第 11 回	【運動機能学 神経支配】 下肢・二重神経支配 呼吸筋			P214-224	近藤 7/8	
第 12 回	【運動機能学 運動学】 バイオメカニクス			P249-254	近藤 7/8	
第 13 回	【運動機能学 運動学】 正常歩行			P240-247	近藤 7/9	
第 14 回	【運動機能学 運動学】 姿勢 動作分析 運動学習			P257-260	近藤 7/9	
第 15 回	まとめ					近藤
備考						